日本総研
The Japan Research Institute, Limited

**サービス・イノベーションへの期待（内閣府　経済社会総合研究所の取り組み）**

日本経済の状況を鑑みるに、雇用の約 20%を占める製造業の生産性は高いのですが、雇用の約 70%を占めるサービス業の生産性は低く、わが国経済の持続的発展のためには、サービス業の生産性の向上（イノベーション）がまさに鍵となります。

このような状況を打開するため、内閣府経済社会総合研究所（ESRI）では、平成２１年度に「サービス・イノベーション政策に関する国際共同研究」と銘打った研究を創設し、サービス・イノベーション研究を支援しております。

本日ワークショップを開催する「流通と理学」研究会では、渋滞学の権威・西成活裕教授に研究会座長を務めていただくとともに、企業の最前線でご活躍されている方々、学術界のプロフェッショナルの方々にお集まり頂き、創造的な研究を進めているところです。

当ワークショップをとおして、流通の問題を理学の視点から考えることで、「サービス・イノベーションの可能性」を、多くの方と共有することができればと願っております。

内閣府経済社会総合研究所　総括政策研究官
青山　伸

**「理学は実業の問題を解決できるか」（「流通と理学」研究会　座長挨拶）**

内閣府経済社会総合研究所「サービス・イノベーションに関する国際共同研究」において「流通と理学」研究会座長を務めております西成活裕です。

「流通と理学」研究会では、平成２２年度の最初の活動として公開ワークショップを開催することと致しました。このワークショップでは委員の先生方にお集まり頂き、「現場×理学」をテーマに討論を重ねていただきます。

具体的には、企業の最前線でご活躍されている「現場」の方々から活きた問題を「お題」として提示していただきます。それに対して、理学のプロフェッショナルである学者がその場でそれらの「お題」を解決していきます。加えて、物流の専門家の先生には、双方の意見を融合し企業や行政への提案を示唆していただきます。

企業の方や研究者、学生の皆様、さらにサービスサイエンスに携わる大学関係者や行政の方など、様々な分野から人々が集まり、その知恵を結集することで「流通と理学」研究会が、いっそうイノベーティブな活動を展開できるものと期待しています。

「流通と理学」研究会座長
東京大学先端科学技術研究センター 教授
西成 活裕

**講師・パネリスト(敬称略)**

**主催者挨拶**

岩田 一政　内閣府経済社会総合研究所 所長

**プロローグ**

テーマ「理学は実業の諸問題を解決できるか」

西成 活裕　東京大学先端科学技術研究センター 教授

**基講講演**

テーマ「ロジスティックスにおける数理的分析の可能性」

苦瀬博仁　東京海洋大学　理事・副学長

**招待講演１**

テーマ　「数理科学による物流合理化　その現状と課題」

高井英造　株式会社フレームワークス　特別技術顧問

**開催案内**

日程　2010 年 8 月 24 日（火）13:30～17:30

場所　株式会社日本総合研究所　１階　会議室

（地下鉄半蔵門線、半蔵門駅下車、徒歩約５分）

主催　内閣府 経済社会総合研究所（ESRI）

Economic and Social Research Institute,

Cabinet Office,Government of Japan

言語　日本語のみ

定員　８０名（先着順）

参加費　無料（要・事前申込）

**会場案内**

■地下鉄　半蔵門線

「半蔵門駅」下車、５番出口、徒歩約５分

■地下鉄　有楽町線

「麹町駅」下車、５番または６番出口、

徒歩約１０分

**申し込み方法**

下記の URL よりお申し込みください。

https://www.jri.co.jp/seminar/100824_332/application/privacy/

**招待講演２**

テーマ　「物流における情報通信技術の課題と取り組み」

石澤直孝　日本郵船株式会社　技術グループ

R&D 事業開発室　室長代理

**パネルディスカッション**

テーマ「理学に期待する：現場との協働」

**司会**

西成 活裕　東京大学先端科学技術センター 教授

**パネリスト**

苦瀬博仁　東京海洋大学　理事・副学長

前野俊昭　京都大学大学院工学研究科 講師

高井英造　株式会社フレームワークス　特別技術顧問

石澤直孝　日本郵船株式会社　技術グループ
R&D 事業開発室　室長代理

北村浩一　株式会社日立製作所　モノづくり技術事業部
トータル SCM 推進センター

**主催者挨拶（閉会の辞）**

青山　伸　内閣府経済社会総合研究所　総括政策研究官

**連絡先（本事業全体についてのお問い合わせ）**

内閣府 経済社会総合研究所（ESRI）
「科学技術と経済社会」研究チーム
担当　西山
Tel：03-3581-0578

**連絡先（本事業の申し込み方法等のお問い合わせ）**

「流通と理学」研究会事務局
（株）日本総合研究所　総合研究部門
担当　下村、水間
Tel：03-3288-4124　Fax：03-3288-6349
E-mail：shimomura.hiroshi@jri.co.jp

**プログラム**

2010 年 8 月 24 日（火)13：30-17：30

| 時間 | プログラム | 講演者（敬称略） |
|---|---|---|
| 13：30 | 開会 | （事務局） |
| 13：30-13：40 | 主催者挨拶　10 分 | 内閣府経済社会総合研究所<br>所長　岩田 一政 |
| 13：40-14：00 | プロローグ（座長趣旨説明）20 分<br>「理学は実業の諸問題を解決できるか」 | 東京大学先端科学技術研究センター<br>教授　西成 活裕 |
| 14：00-14：40 | 基調講演　40 分<br>「ロジスティックスにおける数理的分析の可能性」 | 東京海洋大学　理事・副学長<br>苦瀬博仁 |
| 14：40-15：00 | 休憩（20 分） | |
| 15：00-15：20 | 招待講演１　20 分<br>「数理科学による物流合理化　その現状と課題」 | 株式会社フレームワークス<br>特別技術顧問　高井英造 |
| 15：20-15：40 | 招待講演２　20 分<br>「物流における情報通信技術の課題と取り組み」 | 日本郵船株式会社　技術グループ<br>R&D 事業開発室　室長代理<br>石澤直孝 |
| 15：40-16：00 | 休憩（20 分） | |
| 16：00-17：25 | パネルディスカッション　85 分<br>「理学に期待する：現場との協働」<br><br>（会場との質疑応答、自由討論） | 司会<br>西成 活裕（東京大学）<br>パネリスト<br>苦瀬博仁（東京海洋大学）<br>前野俊昭（京都大学）<br>高井英造（フレームワークス）<br>石澤直孝（日本郵船）<br>北村浩一（日立製作所） |
| 17：25-17：30 | 閉会の辞　5 分 | 内閣府経済社会総合研究所<br>総括政策研究官　青山　伸 |
| 17：30 | 閉会 | （事務局） |